

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--------|---------------------------------------|-------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 21111 | 人間関係論 Theory of Human Relationship | 本田明日美 | | 基礎 | 2 | 選択 | 2 後期後期 |

科目の概要

人間関係について学ぶことは、社会に出て自らの力を十分に発揮するために役立ちます。そのために、まずは「自分や他者をよく知る事」が大切です。本講義では、心理学の視点から自己と他者との関わりについて多面的に検討することで、人間関係について柔軟かつ客観的に捉えられるようになることを目指します。そして、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で問題解決する力を養います。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|---|
| ① 人間の心の働きに関する基礎を理解する。 ② 自分と向き合い、自分の特性を理解する。 ③ 自己と他者との認知の違いについて考察する。 ④ 集団の中での人間関係を理解する。 ⑤ pisa型学力および対人スキルを身につけ、実践することができる。 | ① 人間関係の基礎となる知識について説明できる。 ② 自己理解を深め、自分の課題について考察できる。 ③ 多様性を理解し、自己の認知を調整することができる。 ④ 自己や他者の心の動きを客観的に考察できる。 ⑤ 対人スキルを身につけ、実践することができる。 |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 |
|---------------------|---------------------------|
|---------------------|---------------------------|

| | | |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 知識や技能の習得のために自ら予習や復習をすることができる。また、調べ学習等自発的に課題に取り組むことができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | ワークに前向きに、粘り強く取り組み、理解を深めることができる。課題を期限までに提出することができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 講義やワークにおいて、疑問を抱いたり自己の課題に気づいたりしながらそれらを体験的に結びつけることができる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 多角的な視点で事例や理論を捉えることができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 獲得した知識や技能について、他者に対してわかりやすく的確に表現できる。 |
| | 傾聴力 | 講義において説明される事柄について、自身の立場に置き換えながら聴くことができる。ワークにおいて、相手の意見と自分の意見を擦り合わせながら取り組むことができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。適宜資料の提示や、プリントの配布をする。
 参考文献：齊藤勇 『イラストレート 人間関係の心理学』 誠信書房
 川瀬正裕・松本真理子・丹治光浩 『これからを生きる心理学 「出会い」と「かかわり」のワークブック』 ナカニシヤ出版
 山鳥圭輔・本田周二 『メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論』
 その他の参考文献については講義内で適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|---|
| 皆さんにとって身近な事と結び付けられるようワークも取り入れながら講義を行います。ぜひ「自分だったらどうかな？あの人だったらどうかな？」という視点をもって主体的に参加し、自分や社会、人間関係についての新たな発見をしてください。 | 20分を超える遅刻をした場合は欠席とみなします。講義は集中して聞き、ワークには積極的に参加してください。今後の生活に役立つ内容にしていくには、皆さんの意識と協力が必要です。予習復習をして臨むようにしてください。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|--------|--------------|-----------------------|-------|------|--|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | ⑤ | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 30 | ① | ✓ | 講義内で扱う理論に関する基本的な定義、概念について小テストを3回実施する（10点×3回）。 復習テストであり、基礎知識を理解しているか評価する。 到達目標との対応は以下の通り。 ①講義で提示する人間関係に関する諸理論（心のなりたち、パーソナリティ理論、発達理論、集団心理）の基礎知識を理解できているか。 |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | | | | ⑤ | | |
| | | レポート | | 60 | ① | | 講義内で扱う理論やワークに関するレポートの提出を6回求める（10点×6回）。 基礎知識について体験的に理解し、多角的な視点を交えながら自身の見解を論理的に述べられるかを評価する。 到達目標との対応は以下の通り。 ②自己理解を深め、自身の課題について適切に言語化できるか。 ③、④、⑤講義やワークの意図を自分なりに考え、人間関係への理解、知識と体験とを結び付けられているか。 |
| | | | | | ② | ✓ | |
| | | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | | ④ | ✓ | |
| | | | | | ⑤ | ✓ | |
| | | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | | | | ⑤ | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | レポートやテストへの取り組みから以下のことをポイントとして評価を行う。 主体性：調べ学習等の自主的な学習を行うことができる。 実行力：ワークに前向きに粘り強く取り組み、理解を深めることができる。課題を期限までに提出することができる。 課題発見力：ワークに取り組みながら、知識と体験とを結びつけることで自らの課題に気づくことができる。また、疑問を持つことができる。 創造力：多角的な視点で事例や理論を捉えることができる。 発信力：獲得した知識や技能についての的確に表現できる。 傾聴力：講義において説明される事柄について、自身の立場に置き換えながら聴くことができる。ワークにおいて、相手の意見と自分の意見を擦り合わせながら取り組むことができる。 規律性：講義の“場”を大切に、ルールやマナーを遵守できる。 | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>S（秀）：講義で扱う基礎知識について9割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多角的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べることができる。</p> <p>A（優）：講義で扱う基礎知識について8割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多角的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べることができる。</p> | <p>B（良）：講義で扱う基礎知識について7割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について論理的に述べることができる。</p> <p>C（可）：講義で扱う基礎知識について6割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について文章としてまとめることができる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|---|---|---|-------|--|
| 1 | オリエンテーション 人間関係論とは | ・講義 ・ワーク ・質疑応答 | 人間関係論で学ぶことを理解できる。 | 予習：社会人基礎力を頭に入れておく。人間関係論へのイメージをノートにまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 自己との出会い① 心のなりたち（意識・無意識の機能や防衛機制）を学ぶ。 | ・講義 ・ワーク ・質疑応答（予習復習に対するフィードバックの実施を含む） | 心的機能について理解し、説明できる。 | 予習：1週目に提示することを調べてくる。疑問があればノートに記入する。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 自己との出会い② パーソナリティの基礎理論を学び、それに關する検査に触れる。 | ・講義 ・ワーク ・質疑応答（予習復習に対するフィードバックの実施を含む） | 理論や検査について理解し、それぞれについて説明できる。自己についてパーソナリティの視点から考察できる。 | 予習：2週目に提示することを調べてくる。疑問があればノートに記入する。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 自己との出会い③ 発達理論を学び、自我同一性への理解を深める。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答（予習復習に対するフィードバックの実施を含む） | 発達課題について自己に置き換えながら理解し、現在の自己の課題を認識できる。 | 予習：3週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 5 | 他者との関わり① 社会心理学からみた対人関係の理論を学ぶ。 | ・講義 ・ワーク、小テスト ・質疑応答（予習復習、レポートに対するフィードバックの実施を含む） | 対人認知や印象形成といった対人関係に関する理論を説明できる。 | 予習：4週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 他者との関わり② 言語的・非言語的コミュニケーションを学ぶ。 | ・講義 ・ワーク ・質疑応答（予習復習、小テストに対するフィードバックの実施を含む） | コミュニケーションの種類や方法を理解し、説明することができる。 | 予習：5週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 7 | 他者との関わり③ 家族や愛着理論を学び、温かい食卓について検討する。 | ・講義 ・ワーク ・質疑応答（予習復習に対するフィードバックの実施を含む） | 愛着理論や家族の機能に関する基本理論を説明できる。 | 予習：6週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 8 | 他者との関わり④ 人間関係における好き嫌い、関係の深さについて学ぶ。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答（予習復習に対するフィードバックの実施を含む） | 好き嫌いの背景として考えられる理論を理解し、説明できる。 | 予習：7週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|---|--|---|-------|---|
| 9 | 集団における人間関係① 集団内で起こり得ること、集団が個人に及ぼす影響を学ぶ。 | ・講義 ・ワーク、小テスト ・質疑応答(予習復習、レポートに対するフィードバックの実施を含む) | 集団における社会的認知など基本的な理論について説明できる。 | 予習：8週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 集団における人間関係② 社会的勢力や支配的行動、攻撃行動、その背景を学ぶ。 | ・講義 ・ワーク ・質疑応答(予習復習、小テストに対するフィードバックの実施を含む) | 社会的勢力について簡潔に説明でき、服従実験について理解できる。 | 予習：9週目に提示することを調べてくる。疑問があればノートに記入する。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 集団における人間関係③ 援助行動の理論や心理を学ぶ。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答(予習復習に対するフィードバックの実施を含む) | 人を助ける、人に助けってもらう意味について理解できる。 | 予習：10週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 12 | 対人スキルを身に付けよう① 社会的スキル、そのトレーニングについて学び、実践する。 | ・講義 ・ワーク、小テスト ・質疑応答(予習復習、レポートに対するフィードバックの実施を含む) | 社会的スキルの基礎を理解できる。方法について説明できる。 | 予習：11週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 |
| 13 | 対人スキルを身に付けよう② アンガーマネジメントを学び、実践する。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答(予習復習、小テストに対するフィードバックの実施を含む) | アンガーマネジメントの理論や方法について説明できる。 | 予習：12週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 |
| 14 | 対人スキルを身に付けよう③ アサーショントレーニングについて学び、実践する。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答(予習復習、レポートに対するフィードバックの実施を含む) | アサーショントレーニングの理論や方法について説明できる。 | 予習：13週目に提示することについてまとめる。 復習：講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 |
| 15 | 未来の自己との出会い これまでを振り返り、未来へのステップとする。 | ・講義 ・ワーク、レポート ・質疑応答(予習復習、レポートに対するフィードバックの実施を含む) | これからも人間関係の中で生きていくことを踏まえて未来を想像し、それについて自身の考えを説明することができる。 | 予習：14週目に提示することについてまとめる。 復習：これまでの講義内容を振り返る。ノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力